

平成29年7月2日執行東京都議会議員選挙 調査結果の概要

1 年代別の投票行動

(1) 年代別の比較

21歳～24歳（25.32%）が最も低く、年齢層が上がるとともに、高くなっており、70歳～74歳（74.30%）で最も高くなり、80歳代以上（53.14%）では低下している。

(2) 前回東京都議会議員選挙との比較

前回都議選（H25）と年代別の投票率を比較すると、20歳で前回は1ポイント以上下回っている。その他の年代では、2ポイント以上上回っており、特に50歳代では約11ポイント上回っている。

なお、全体の投票率（公式結果）は、51.28%で、前回都議選の43.50%に比べて7.78ポイント高くなっている。

2 男女別・年代別の投票行動

19歳及び65歳以上の各層を除き、女性の方が男性より高くなっている。特に、30歳～34歳では、男性32.80%、女性36.10%で、その差が3.30ポイントと最も大きくなっている。

なお、全体の男女別投票率（公式結果）は、男性51.02%、女性51.52%で、女性が男性を0.50ポイント上回った。

3 地域別・年代別の投票行動

区部、市部、群部地域で70歳代が最も高く、20歳代が最も低くなっている。また、島部では70歳代が最も高く、10歳代が最も低くなっている。

なお、地域別の投票率（公式結果）をみると、区部51.13%、市部51.54%で、区部が市部を0.41ポイント下回っている。

4 区部地域別・年代別の投票行動

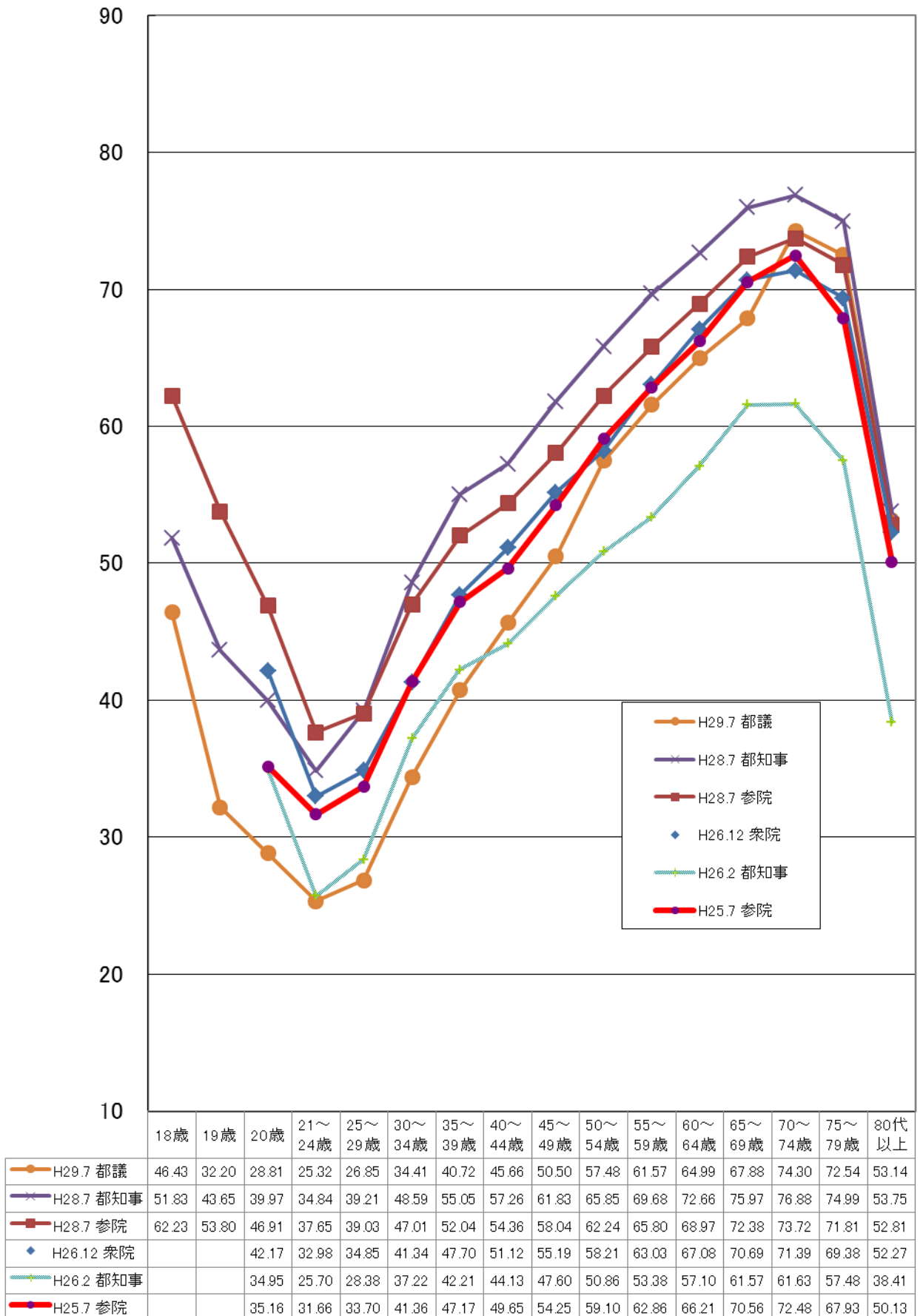
特別区をさらに、①都心地域、②城南地域、③城西地域、④城北地域、⑤城東地域の5つに分け、地域ごとの概要をまとめている。

なお、26市5町8村については、面積が広く、また区部に比較すると人口が集積していないことから、地域を区分けして集計・分析は行っていない。

(注) 平成25年6月23日執行東京都議会議員選挙を「前回都議選」と略した。

年代別・選挙別推定投票率一覧

(単位: %)



(単位: %)

年代別推定投票率一覧(東京都議会議員選挙)

